



メールマガジン「ユニバーサルひょうご通信」第132号  
発行：兵庫県ユニバーサル推進課 令和3年8月12日



2020東京オリンピックでは、連日熱戦がくり広げられました。  
24日からは、いよいよパラリンピックが始まります。車いすバスケットボールや陸上競技、パラリンピック独自の競技「ボッチャ」等、ぜひご覧下さい。兵庫県出身の選手の活躍が楽しみです。  
それでは、ユニバーサルひょうご通信8月号をどうぞ。



#### 【お知らせ】

- ① ひょうごユニバーサル社会づくり賞受賞者が決定しました
- ② 「みんなの声かけ運動応援協定」を7企業と締結しました

#### 【今月のピックアップ！】

- ③ 山陽電車で、知的障害がある方への理解を求めるポスターを掲示

#### 【手話カフェ】

- ④ 聞こえなくてもスポーツの世界は一つ

#### 【イベント・募集】

- ⑤ 「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」の募集  
(募集期間：9/3まで)

- ⑥ 「兵庫県障害者アートギャラリー」9月までの催し

#### 【ラジオ】

- ⑦ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」7月放送内容
- ⑧ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」モニターアンケート

(8/31 まで)



---

① ひょうごユニバーサル社会づくり賞受賞者が決定しました

---

県は、年齢、性別、障害の有無、文化等の違いに関わりなく、全ての人が地域社会の一員として尊重され、互いに支え合い、一人ひとりが持てる力を発揮して活動することができる「ユニバーサル社会」を、皆さまと一緒に実現することを目指しています。

そして毎年、ユニバーサル社会づくりに向けた個人・団体・企業の率先した活動を「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」として、顕彰しています。

令和3年度は、7月20日(火曜日)に、兵庫県公館にて「令和3年度ひょうごユニバーサル社会づくり賞贈呈式」を開催し、コロナ禍においても様々な分野で、ユニバーサル社会の実現に向けた様々な活動をされている受賞者の皆さまに感謝の意を伝え、表彰状と副賞を贈らせていただきました。

■知事賞

【個人】内海 礼子さん

「さまざまなコミュニケーション方法で楽しむランチタイムの場づくり」

【団体】Teenagers' Free ! Theater

「ちょっと学校に行きにくい 10 代のための演劇サークル」

【企業】生活協同組合コープこうべ コープ龍野

「スーパーマーケットを活用した地域交流拠点づくり」

■他の受賞者や活動内容は、こちら県ホームページをご覧ください。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf10/universal/shakaidukuri.html>

---

## ② 「みんなの声かけ運動応援協定」を7企業と締結しました

---

県は、まちなかで困っている人に声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」を推進しています。

この運動を発展させるため、毎年、県と団体・学校・企業等が連携し、地域における運動の普及を推進する「みんなの声かけ運動応援協定」を締結しています。

今年度は7月20日(火曜日)、兵庫県公館にて締結式を行いました。(※ひょうごユニバーサル社会づくり賞贈呈式と同時開催)

令和3年度は、コロナ禍であってもユニバーサル理念を継続して普及し、社会参加や情報取得に必要な支援を行うため、メディア関係企業と協定を結んでいます。

### ■応援協定締結企業(計7社)※敬称略

上郡町ケーブルテレビ

さくらFM株式会社

株式会社エフエム宝塚

株式会社エフエム三木

株式会社エフエムさんだ

特定非営利活動法人たんばコミュニティネットワーク

兵庫ジャーナル社

---

## ③ 山陽電車で、知的障害がある方への理解を求めるポスターを掲示

---

今回は、県と「みんなの声かけ運動応援協定」を締結している山陽電車のユニバーサルな取組をご紹介します。

山陽電車は、知的障害のある方が、その障害特性から車内でおこしやすい色々な行動に対して、理解を求めるポスターを制作。6月から各車両や山陽バスの車内に掲示しています。内容は、知的障害を子どもに持つ親の会「手をつなぐ育成会」に意見を聞きながら制作したそうです。

ポスターには、障害特性による行動を「おおごえ」「うろうろ」「いつもの場所」「ぶつぶつ」「あつめる」と、5つ紹介。それぞれ、なぜその行動をとるのか理由が書かれています。

例えば、「ぶつぶつ(独り言を言う)」は、「気持ちの整理をするため」と説明しています。

通学で山陽電車を利用している高校生(17歳、男子)は、ポスターを見て、「実際に車内でそういう人を見たことがあって、その時はこういう気持ちだったんや、と分かりました。」と話しました。

公共交通機関のポスターをきっかけに、障害者への理解の輪が広がっています。

#### ■ポスターの掲示場所

- ・山陽電車の各車両、山陽バスの車内
- ・山陽電車の全49駅

#### ■ポスターの内容や詳細はこちら(山陽電車のホームページ)

[www.sanyo-railway.co.jp/media/1621573353.pdf](http://www.sanyo-railway.co.jp/media/1621573353.pdf)

---

#### ④【手話カフェ】～聞こえなくてもスポーツの世界は一つ～

---

8月24日からはパラリンピックが始まります。パラリンピックは障害のある人の大会ですが、聴覚障害者は参加していないということをご存知ですか？

聴覚障害者は、音による合図では対等に競技に参加できません。また、音声による指示や声かけも、何かしらの工夫がなければ、すぐに気づくことはできません。けれども、身体の動きの障害ではないので、走る・跳ぶなどの機能的な面では競技ができます。そういったこ

とから、耳の聞こえる人や聴覚以外に障害のある人たちと同様なルールでは競技しにくい障害特性があります。

聴覚障害者は聞こえない選手たちが集まるデフリンピックを開催してきました。1924年にフランス・パリで始まり、今はオリ・パラのように4年に一度、世界のどこかで開かれるようになりました。2017年のトルコ大会では日本からも108名の選手が参加したそうです。

音を目で見える形に変えれば共にスポーツを楽しむことができることから、同時にスタートできるように陸上競技や水泳などのスタートでは音と同時に光る機器もできています。(インターネットで、「陸上競技 スタート 聴覚障害者」などで検索してみてください。)

放送や合図、声かけなども、光、字幕、会場スクリーンなど見えるものを活用して工夫がなされていくといいですね。

国内大会としては全国ろうあ者体育大会があり、今年は9月に兵庫県で開催される予定です。全国各地からスポーツ好きのろうあ者が集まってくるので、街のどこかでスポーツウェアを着て手話でおしゃべりしている人を見かけたら、体育大会のことを思い出して下さいね。そして、困っている様子なら、手話ができなくても、身ぶり手ぶりや、スマートフォンや紙に「何かお手伝いしましょうか?」と書いて見せるなどして、声をかけてみませんか?兵庫県の「おもてなし」の心、きっと伝わります。

(兵庫県設置手話通訳者)

---

⑤ 「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」の募集  
(募集期間:9/3まで)

---

障害のある人への県民の理解を促進するため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を広く募集しています。募集期間は9月3日までです。たくさんのご応募、お待ちしております。

## ■作文

### <募集テーマ>

「出会い、ふれあい、心の輪～障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう～」

### <応募資格>

兵庫県内(神戸市を除く)に在住、または在学する小学生以上の人

※小学生以上であれば、障害の有無にかかわらず、どなたでも応募可能です

## ■ポスター

### <募集テーマ>

「障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現」

### <応募資格>

兵庫県内(神戸市を除く)に在住、または在学する小・中学生

※小・中学生であれば、障害の有無にかかわらず、どなたでも応募可能です

詳しくは県ホームページをご覧ください。

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20210616\\_7907.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20210616_7907.html)

---

## ⑥ 「兵庫県障害者アートギャラリー」9月までの催し

---

神戸市灘区の県立美術館王子分館「原田の森ギャラリー」内にある「兵庫県障害者アートギャラリー」では、9月30日(木)まで「南光園 絵画作品展 こころのせかい」を開催しています。

心に刻まれた風景や大好きなものを描いた作品、グループで描いた作品、身長ほどもある大きな作品など、障害のある方々が、様々

な表現手段を使い、自由な発想で描いた豊かな絵画の世界をどうぞご鑑賞ください。

8月11日(水)から15日(日)までは隣の「本館1階展示室」にて「オープン1周年記念特別展」も開催中！

■「南光園 絵画作品展 こころのせかい」好評開催中です。

<https://hyogo-arts.or.jp/harada/exhibition/#2090>

---

⑦ ラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」7月放送内容

---

■7月20日の放送内容

<ゲスト>

パラスポーツ選手 久保 秀男さん

<テーマ>

パラスポーツの魅力

国内だけでなく国際大会でもメダルを獲得されるなどご活躍の久保さん。パラスポーツの魅力は、「勝負や記録を争うのはもちろん、残された身体能力と、車椅子やカーボン義足などの道具を見て、楽しむことができることだ。進化した道具を使うには、鍛え上げられた身体が必要。初めて見る方は、そこにも注目して楽しんでほしい！」と話します。

番組後半は、社会福祉法人円勝会 ドリーム甲子園(西宮市)の「なめらかプリン」をご紹介しました。県庁 2 号館1階で営業している「ドリームカフェ」にて、イートインでの販売をしています。

詳しい放送内容は、ラジオ関西「ラジトピ」をご覧ください。

<https://jocr.jp/raditopi/2021/08/12/379476/>

■次回のラジオ「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」

8月17日(火)15時20分～15時40分

(ラジオ関西「PUSH!」内)

ゲストは、就労継続支援 B 型 ドリームボール理事長の竹本武志さん。(予定)

「農福連携」を主なテーマに、就労を通じた障害のある方の社会参加についてお話しいただきます。

---

⑧ 「濱田祐太郎のひょうごユニバーサル通信」モニターアンケート  
(8/31 まで)

---

ラジオ関西のホームページで、番組アンケートを実施中です。

ユニバーサル社会に関する設問へのご回答と番組音声を聴いての感想やメッセージをご記入ください。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で、ステキなプレゼントもあります。

■アンケートはこちら(ラジオ関西ホームページ)

<https://jocr.jp/event/universal/>

---

**【編集・発行】**

イベント情報や、メルマガの配信希望・中止等のご連絡は以下まで  
兵庫県健康福祉部障害福祉局ユニバーサル推進課

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5 丁目 10 番 1 号

TEL:078(362)4379 FAX:078(362)9040

Mail:universal@pref.hyogo.lg.jp

---